

2023-2024 年度国際ロータリー第 2840 地区

地区研修・協議会報告書

日 時：2023 年 5 月 21 日(日) 10 時～17 時 20 分

場 所：ホテルベラヴィータ 沼田市材木町 178-1

ホストクラブ：沼田中央ロータリークラブ

参加者：8 名（伊勢崎 RC より）

地区より 森田パストガバナー、新井地区研修委員、
次年度松島光雄地区公共イメージ・ICT 推進委員長

クラブより 原会長エレクト、加藤次年度幹事、次年度宮澤会員増強委員長
次年度岡部クラブ研修委員長、次年度五十嵐地域社会奉仕委員長

地区研修・協議会は、各クラブにおける指導的立場のある方を対象に国際ロータリーのテーマを受けた保坂ガバナーエレクトの方針を理解し、地区及びクラブの活動計画の基礎をつくる研修及び協議会です。

地区からの要請で、奉仕プロジェクト関係の委員長の出席依頼でありましたが、次々年度の会長、幹事などもっと幅広く依頼を掛けて欲しいと感じました。今回は当クラブより、8 名の参加となりました。

2023-24 年度ゴードン R. マッキナリー R I 会長のテーマは、「世界に希望を生み出そう」と掲げ、ポリオ根絶などの継続の重要性やロータリアンとローターアクトでの相互協力、持続可能な良い変化を生むための行動計画の実現、メンタルヘルス重視の他、平和にさらなる主眼を置き、破壊的な紛争から世界が立ち直れるように、希望を取り戻すことを掲げております。

保坂ガバナーエレクトの地区スローガンは、個々人の人間としての尊厳を大切にしつつ、「自らの心を開放し明るく学んで楽しく奉仕」と発表されました。

地区運営方針としては、1. より大きなインパクトをもたらす 2. 参加者の基盤を広げる 3. 参加者の積極的なかわりを促す 4. 適応力を高める 5. 地区数値目標 を掲げ、詳細としては、各クラブの会員純増 1 名や 3 ヶ年戦略計画の推進などを挙げました。

その後、地区組織、地区予算、地区戦略計画、2023 年決議審議会上程決議案についての決議が行われ、承認されました。

各種表彰においては、2021-2022 年度内の年次基金への一人当りの寄付額で、伊勢崎ロータリークラブが第 2 位となり、原会長エレクトが登壇いたしました。

その他、100%ロータリー財団寄付クラブと End Polio Now にも当クラブが選出されました。

表彰後の地区委員会報告では、森田パストガバナーが担当する地区 3 委員会をまとめて報告されました。また、松島地区公共イメージ・ICT 推進委員長も委員会報告を行いました。地区委員会報告の後、竹中ガバナーノミニニー・デグジネートの挨拶をお聞きし、ようやく昼食となりました。



当クラブ集合写真



保坂ガバナーエレクトの方針発表



年次基金への一人当たりの寄付額 第2位



地区委員会報告

昼食後、基調講演として、弘前アップルロータリークラブの関場慶博氏から「ロータリー、この素晴らしき世界」というテーマで、大変感動的なお話を聞くことができました。「ロータリーは確かな目的と哲学の礎を持っている」「変わらずに生き残る為には自ら変わらなければならない」などとお話をし、ポリオ根絶の為、ロータリアンそして医師として海外で奮闘した情熱話に心を打たれました。

その後、休憩を挟んで3分科会（トレーニングからラーニングへ、会員増強・会員維持、環境・公共イメージ）に分かれて、各テーマについて学びや気づきを得ることができました。その後、また一堂に会して、各分科会からの代表者のお話に耳を傾け、本田地区研修リーダーの講評の時間を迎えました。最後に沼田ロータリークラブの春日地区大会実行委員長の挨拶があり、閉会となりました。



関場慶博氏 基調講演



第2分科会 森田パストガバナー



新井地区研修委員

日曜日に盛り沢山の内容を詰め込んだ研修会でありました。この地区研修・協議会で学んだことを次年度のクラブ活動に反映していきたいと思ひます。

(報告者：次年度幹事 加藤 学)